

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ/当院の方針

患者様におかれましては新型コロナウイルス感染症に関して多くのご心配・ご不安を抱えておられることとご推察いたします。この度関係学会から「新型コロナウイルス感染症に対する情報提供がなされました。その内容は

- ① 妊婦に禁忌の薬剤による治療が試行されていることから、妊娠中に感染した場合有効な治療薬が使えず対応に苦慮することが予想されること
- ② 外出を伴いまた複数の人と接する通院自体が感染の機会が増加する可能性があること

このため、「不妊治療を延期するかどうかを患者様と相談すること」「採卵を予定している場合はできるだけ胚凍結をお勧めすること」などが推奨されています。

しかし、2020年4月1日付で厚生労働省HPの妊婦さん向けのリーフレットに以下のとおり記載されております。https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10653.html

「現時点では、妊娠後期に新型コロナウイルスに感染したとしても、経過や重症度は妊娠していない方と変わらないとされています。胎児のウイルス感染症例が海外で報告されていますが、胎児の異常や死産、流産を起こしやすいという報告はありません。したがって、妊娠中でも過度な心配はいりません。」

そこで、当院としましては以下のような方針で診療を行いますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. これまで通り診療を行います。患者様には年齢や経済面など個々の事情がおりと思いますので、これまで通り治療できる体制を整えてまいります。治療を継続するか延期するかにつきましては、最終的にはご自身の判断にお任せします。
2. 新患の方もこれまで通りに受け付けます。

当院では今後も感染予防と情報収集に努め、皆様が安心して治療できる体制を維持していきたいと考えています。

尚、この情報および当院の方針は状況の変化により随時更新されていきます。

2020/4/24 改訂